

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用は、周囲の人から誘われて、好奇心や興味本位で手を染めるケースが多く見られます。薬物乱用に対する理解を深め、絶対に手を出さないという自覚が大切です。

与謝野町役場

- ☎ 43-9000 (代表)
- 総務課 ☎ 43-9010
- 防災安全課 ☎ 43-9011
- 商工振興課 ☎ 43-9012
- 会計室 ☎ 43-9013
- 建設課 ☎ 43-9014
- 企画財政課 ☎ 43-9015
- 観光交流課 ☎ 43-9016

加悦庁舎

- ☎ 43-9001 (代表)
- 税務課 ☎ 43-9020
- 福祉課 ☎ 43-9021
- 保健課 ☎ 43-9022
- 農林課 ☎ 43-9023
- 子育て応援課 ☎ 43-9024
- 教育委員会 学校教育課 ☎ 43-9025
- 教育委員会 社会教育課 ☎ 43-9026
- 議会事務局 ☎ 43-9027
- CATVセンター ☎ 43-9028

野田川庁舎

- ☎ 43-9002 (代表)
- 住民環境課 ☎ 43-9030
- 上下水道課 ☎ 43-9031



地域おこし協力隊通信 69

魅力化コーディネーター 長谷川隊員 ☎ 社会教育課 ☎ 43-9026

宮津天橋高校加悦谷学舎で活動している地域おこし協力隊の長谷川です。今回は、高校生目線で与謝野町の魅力を発見・発信する広報チーム『よさの高校生広報室@みらい(以下、「広報室」)の活動状況についてお伝えします。

活動していくにあたり、活動方針、取材先や時期など、すべて生徒が決めていきます。文字にするとは簡単ですが、これらを実際に整えていくのは決して容易ではありません。なぜなら、メンバー全員がやったことがないから。去年のメンバーから活動内容を引き継ぎ、暗模索の中、多くのことを決める必要があります。やったことがないこと、未知なことに対して行動するというのはとても勇気がいりますし、想像力と創造力が必要です。さらに、実行するために話し合い、決定する、実行する。すべての行動において時間の捻出が必

要です。すでに経験があり、それに集中できる環境であればスピード感を持って取り組めますが、勉強に部活動も抱えている彼女たちにとってはそれなりにエネルギーが必要だったでしょう。それでも、自分たちなりに考え、取材のアポイントをとり、取材を実施し、記事作成まで完了させることができました。



取材する広報室のメンバー

「すごく緊張したけど、貴重な経験ができた」「これまでお店の存在を知らなくて、新しい発見ができて楽しかった」など、ちょっとした達成感を得るとともに、「もっと質問を考えてくべきだった」と反省点も得ていました。抱えて

町内に配布している広報紙には掲載しています。

お悔やみ (敬称略)

町内に配布している広報紙には掲載しています。

おめでとうございます (敬称略)

まちのうごき
令和4年6月末現在
人口 20,378人 (-12)
男 9,768人 (-1)
女 10,610人 (-11)
世帯数 8,975戸 (+11)
※括弧内は前月比



家族の大切な財産をしっかりと引き継ぎましょう

お早めにご相談ください ☎ 空家総合相談窓口 (総務課) ☎ 43-9010

空家管理3箇条

- 1 空家が管理不全な状態にならないよう、盆、正月、法事の際など、相続が発生する前から家族全員で相談し、大切な財産をしっかりと引き継ぐ。
- 2 不動産を売却するには、必ず相続登記を行わなければならない。空家等の問題を後世に継り延べて複雑化させないためにも、相続登記を行う適切な維持管理につなげる。
- 3 相続登記の手続きは、司法書士などの専門家に相談する。

近年、少子高齢化の進展による人口減少時代を迎え、核家族化や社会的ニーズの変化、既存の住宅等の老朽化などにより、全国的に空家が増加している状況です。中でも管理不全な空家は、樹木の繁茂、動物の住みつき、ごみの不法投棄や周辺の景観を損なうなど、近隣に悪影響を及ぼすものもあります。

また、管理不全な空家が原因で、近隣住民や通行人等に損害を与えた場合、被害者等から賠償責任を問われることがあります。

企業版ふるさと納税をいただきました

6月に企業版ふるさと納税による寄付をいただいた企業様を紹介します。なお、企業名、寄付金額、寄付対象事業名は、ご了承いただいた企業様のみ公表しています。 ☎ 企画財政課 ☎ 43-9015

企業名	寄付金額	寄付対象事業名
富士ウェルテック株式会社様 (兵庫県尼崎市)	非公表	新しいモノ・コト創出“人財育成”プロジェクト
株式会社NEO様 (京都市)	10万円	自然循環農業推進事業

和をまとう。 — きもの着付け教室 —



朝の部

昼の部

夜の部

和装に触れる機会を増やすことを目的として、きもの着付け教室(夏着物講座、全4回)を6月3日から開催し、夏着物の着付け習得を目標に延べ28人の方が受講しました。閉講式では、皆さん着物や浴衣を素敵に着こなされ、華やかな雰囲気にもまれていました。

※ この欄で紹介する出生とお悔やみは、6月16日から7月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届け出の際に希望された方のみを掲載しています。